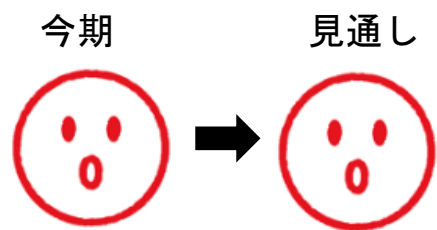


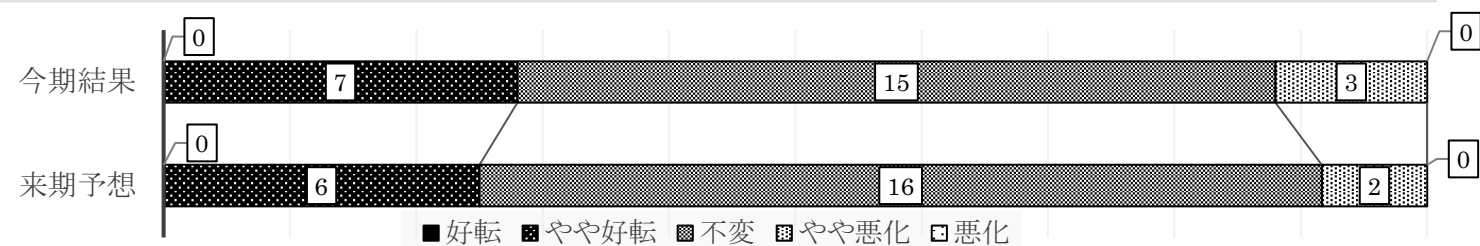
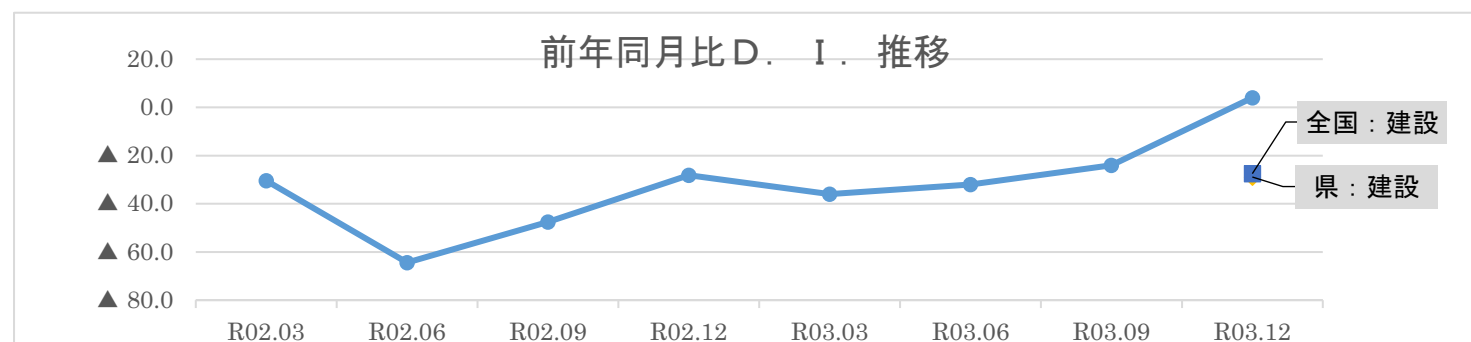
# 建設業

回答率：100% (25/25)



## ■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの影響により、トイレなどの住宅設備機器の納品が遅れており、材料は品薄状態で価格も高騰している。今後も価格に転嫁しにくい状況が続くと思われる。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

材料費の高騰が続いており、利益圧迫の恐れがある。新型コロナウイルスの影響により、トイレなどの住宅設備機器の納入が遅れており、材料は品薄状態が続いている。電気工事業においては、銅線の価格が高騰しており、収益を圧迫している。

### 【丹波市の来期の景況予想】

受注量は回復傾向にあり、コロナ禍でも比較的に見通しは明るいと思われるが、建築資材など材料費が高騰しており、今後も価格に転嫁しにくい状況が続くと思われる。

## ■全国の景気動向

給湯器などの住宅設備機器の納入が遅れており、管工事や電気工事などの景況感が悪化している。また、公共工事の受注高も低下傾向となり、土木建築工事などでマイナスとなっている。木材や鉄鋼など建材の価格も高騰し、収益の圧迫が懸念されている。

## ■県下の景気動向

資材不足で止まっていた工事が再開するなど、ゆるやかではあるが復調しつつある。ただ、世界的な流行、サプライチェーン等新型コロナウイルスの感染状況によっては、部材調達など供給不足問題が再燃すると思われる。

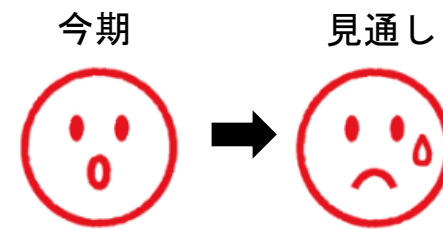
## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	1	0	2	2	0	7	28.0%
不変	1	9	1	0	1	0	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	2	0	2	0	2	6	24.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

# 製造業

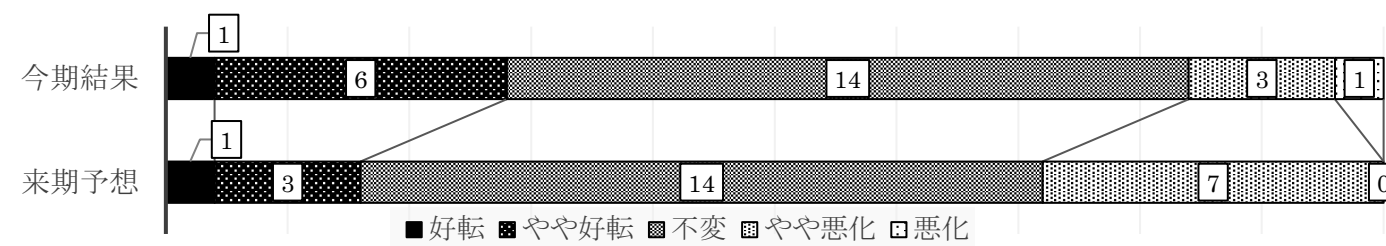
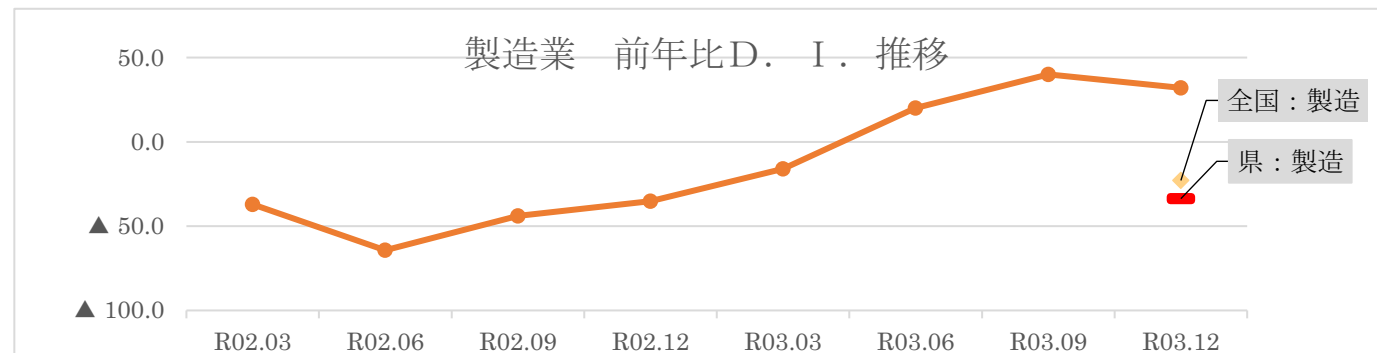
回答率：100% (25/25)

2021年10月～12月期調査



## ■丹波市の景況推移

製造業全般において稼働状況が良好に推移をしているが、原材料の不足、原材料の価格高騰が継続的に発生をしていることから、先行きを不安視している事業所が多々ある。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

製造業全般において比較的、受注は安定をしており、稼働状況も良好であるが原材料不足により一部生産が停止している事業所が見受けられる。

### 【丹波市の来期の景況予想】

良好に推移をしているが継続的に原材料不足・高騰が続く、採算が悪化していくことを懸念している事業所が多く存在をしている。

## ■全国の景気動向

食料品関連は歳末と巣ごもり需要により、売上や設備等の稼働状況は好調であり、機械金属関連も好調に推移をしている。また、医療用機械器具が大幅に伸長し、輸送用機械器具は12月に入り再び自動車工場の稼働停止がみられるものの、挽回生産へ向けた動きや受注残の積み上がりを背景に改善をしている。ただ、継続的に木材や金属等の原材料不足・高騰が続く、採算が悪化しているため、今後を不安視する声も多い。

## ■県下の景気動向

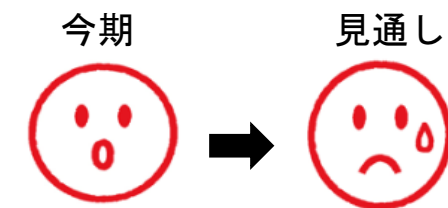
全体的に業況は改善しているものの、原材料不足・高騰が継続的に発生をしており、来期以降について不安視する声がある。そのため、価格高騰で利益の圧迫により業績が低迷していくことが懸念される。

## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	5	3	3	0	1	13	52.0%
不変	1	2	1	0	2	1	7	28.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	2	1	0	1	1	5	20.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

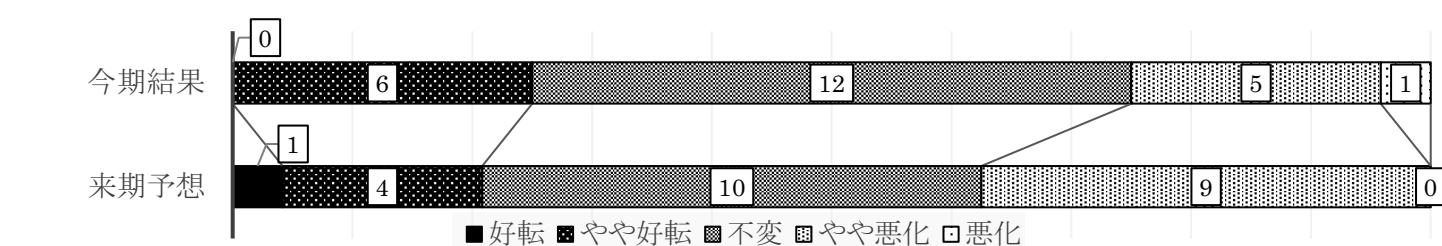
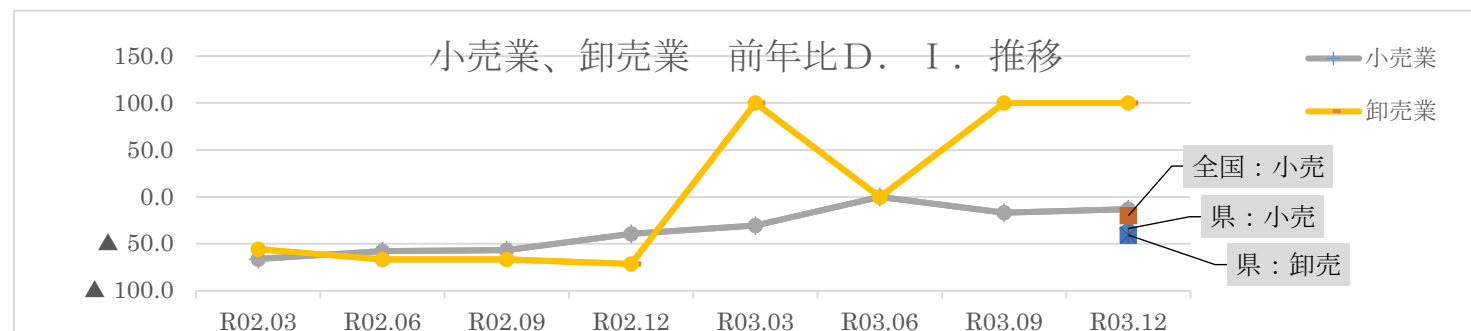
# 小売、卸売業

回答率：96% (24/25)



## ■丹波市の景況推移

緊急事態宣言が解除され、人流も物流も戻りつつあったが、新型コロナウイルスの新規感染者の再拡大により、購買意欲が損なわれ売上・利益の減少が懸念される。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

食料品類は比較的安定した状況が続いている。自動車関連は、未だ新車の入荷が滞っている状況である。その反面、中古車市場は活発であるが、値段が高騰しており購買需要が停滞している。コロナ感染対策のマスク着用が浸透している事から、風邪薬・鼻炎薬がまったく売れない厳しい状況にある。

### 【丹波市の来期の景況予想】

新型コロナウイルスの新規感染者の大幅増加が懸念され、今後、食料品関係以外は、消費者購買意欲が落ちそうであり、売上・収益共に悪化しそうである。

## ■全国の景気動向

年末にかけ外出する機会が増加した事で、婦人服・子供服の売上が改善された。又、家具類小売も家庭内需要が堅調で大きく改善された。一方、自動車関連では半導体不足の影響による新車の供給量減少の影響で、悪化傾向となった。

## ■県下の景気動向

年末年始の需要拡大に伴い食料品関係は売上増加傾向にあった。年末、経済活動制限の全面解除を受け、小売業を中心に改善傾向にあった。ただ、コロナの新規感染者の再拡大により、今後は食料品小売業以外で売上・利益の大幅減少が懸念される。

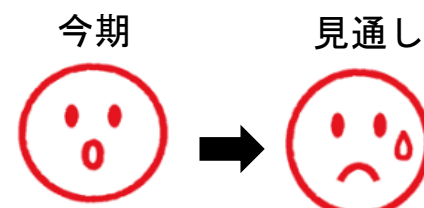
## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	1	1	1	0	7	29.2%
不変	1	4	0	1	0	2	8	33.3%
悪い (悪化+やや悪化)	4	1	0	2	2	0	9	37.5%
合計	6	8	1	4	3	2	24	100.0%

# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

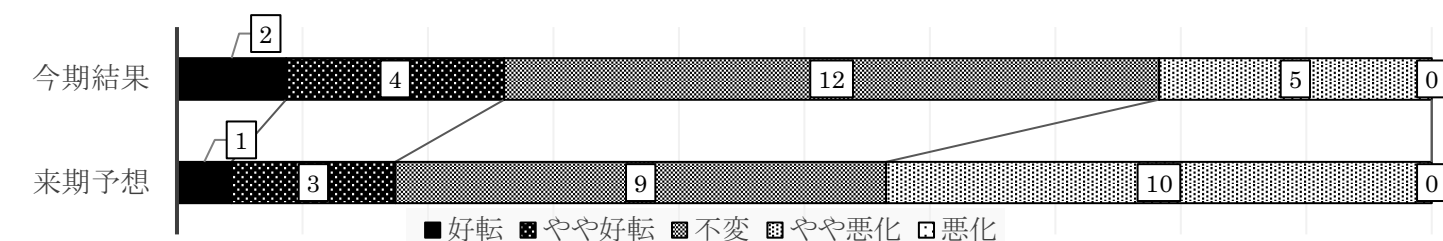
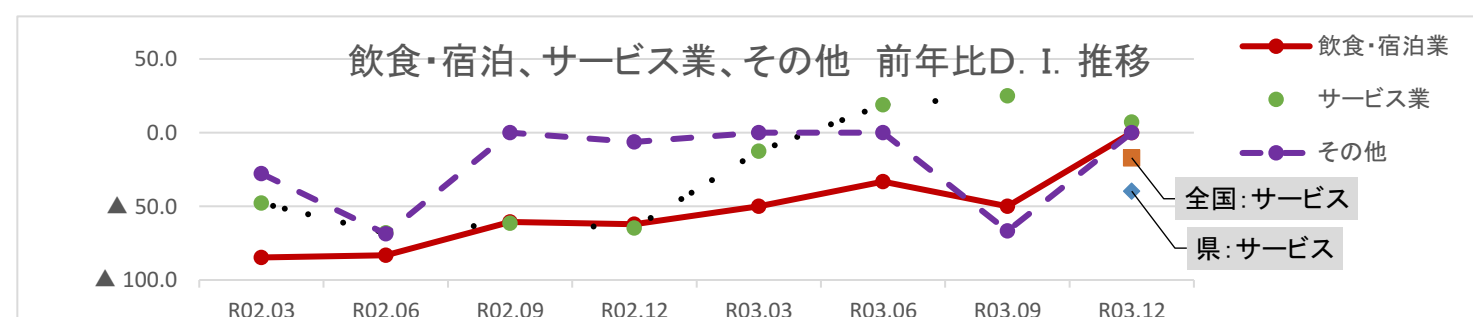
回答率：92% (23/25)

2021年10月～12月期調査



## ■丹波市の景況推移

オミクロン株の急激な拡大により、再び経済活動の停滞が予測される事から、やや悪化の予測が大幅に増えている。人流抑制によるマイナスの影響予測がサービス業全体でみられる。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

飲食宿泊業では、業況 ID は改善傾向に振れた。要因は、新型コロナウイルスの影響下にありながら、秋の行楽シーズンに新規感染者の発生が抑制され、人の動きが戻ってきた事に因る。市内各所で観光客の姿も多く見られた。

しかし、後半はオミクロン株の発生により再び人流抑制がかかり、サービス業全般で消費マインドの減退が見られた。これに加え、幅広い業種で原材料価格の上昇が見られ、収益環境としてはマイナスの回答が増える結果となった。

### 【丹波市の来期の景況予想】

オミクロン株の拡大により、再び経済活動の停滞が予測される事から、やや悪化の予測が大幅に増えている。具体的な動きとして、飲食宿泊業では予約キャンセル件数が増加している。また、秋に一時的に盛り上がった観光関連業種でも、予約キャンセルが相次ぐなど、来期は人流抑制によるマイナスの影響予測がサービス業全体でみられる。

## ■全国の景気動向

全国の小規模企業についても、業況 DI は3カ月連続で改善となっている。コロナ新規感染者の急激な減少を受け、観光地への人出の増加により、特に娯楽サービス、飲食小売業種で持ち直しの傾向が見られた。

## ■県下の景気動向

県下のサービス業種でも売上 DI は改善傾向がみられた。宿泊関連業では、10月以来客足が戻り、売上は堅調に推移した。帰省客や観光客も増えたことにより、賑わいを取り戻した小売店、飲食店も多かった。一方で原油高や仕入原材料の価格上昇により、採算が悪化しているという傾向が見られた。

## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	0	1	1	1	7	30.4%
不変	1	5	2	2	0	0	10	43.5%
悪い (悪化+やや悪化)	2	1	2	1	0	0	6	26.1%
合計	5	8	4	4	0	1	23	100.0%